

# 沖縄県内のIT人材育成と県外企業へのビジネスチャンス開拓をアシストします。

### 事業概要

ODITT事業は公益社団法人沖縄県情報産業協会が沖縄県の補助(平成30年度IT人材高度化支援事業)を受け実施する人材育成事業です。

本事業では、これまで継続して取り組んできた県外からの受注拡大を図るための課題解決型エンジニアの育成に加え、IoTやビッグデータ、AIなど急速に発展するデジタル技術を活用した新たなビジネスの創出を担う価値創造型エンジニアの育成に取り組みます。

第4次産業革命の潮流、Society5.0の実現に対応すべく独創性・創造性を発揮し、他産業との連携・協業を推進する多面的で多様性あふれる人材の育成を目指し、Okinawa Diversified IT-expert Training(ODITT)としました。

### 事業構成

ODITTは、以下の3つで構成されています。

# ODITTスキルアップ講座

一般的な座学講座である技術講座や資格対策講座だけでなく、受注拡大に直結したOJT講座、PBL講座も開講します。(→P3へ)

# 02 ODITTセミナー

県内外から専門家や各分野で活躍している講師を招へいし、業界の最新動向および先端技術、より専門性の高い分野やニッチな分野など、幅広いテーマを講演会やワークショップなど最適なかたちで開催します。(→P14へ)





画像はイメージです。

# 03

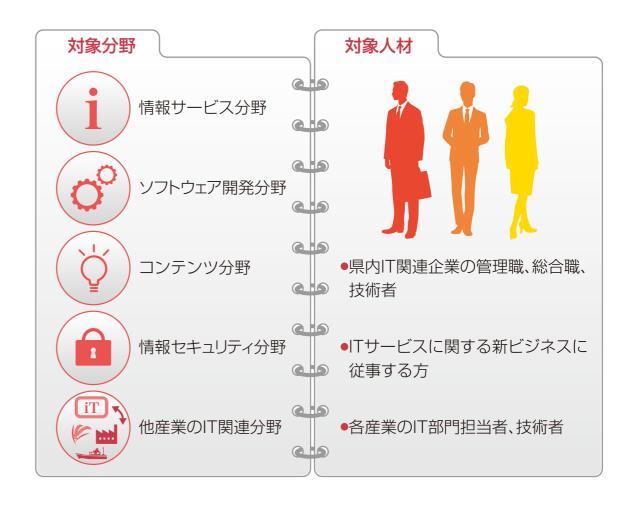
### IT技術者実態調査

県内のITエンジニアの実態を把握するための調査を行ないます。

IoTやビッグデータ、AIなどのデジタル技術を活用した新たなビジネスの創出に関わるエンジニアはもとより、従来のエンジニアについても、"技術者の質"として「高いIT技術力」や「問題を発見する力」、「経験をベースにした問題解決力」、「自発的に動く力」などが今後さらに重要性を増していくといわれている中、県内ITエンジニアの実態を調査することは喫緊の課題です。

ITエンジニアや経営層へのヒアリングなどを行ない、沖縄の情報通信関連産業界における人材育成、企業成長および情報通信関連産業の発展のための課題を抽出するとともに、その解決手法についての検討を行ないます。

県内ITエンジニアの実態を把握し、県・産業界が目標としている人材像との差異を明確にすることで、より実効性をもった人材育成事業を展開していきます。

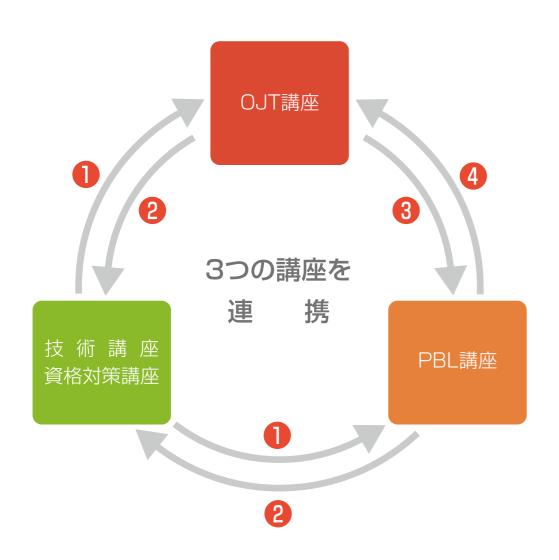




# ODITTスキルアップ講座

一般的な座学講座である「技術講座」「資格対策講座」に加え、県外からの業務案件獲得に直結した「OJT講座」「PBL講座」を実施します。

「技術講座・資格対策講座」「OJT講座」「PBL講座」は連携して活用することができます。また、 各講座を連携させることで、より効果的に技術力の定着を図ることができます。



- ●「技術講座・資格対策講座」を受講し、技術スキル向上を図ったうえでの「OJT講座」「PBL講座」の受講。
- ②「OJT講座」「PBL講座」を受講し、案件対応のためにさらなる強化が必要となった技術スキルに関する「技術講座・資格対策講座」の受講。
- ③「OJT講座」を受講し、チームリーダーを育成したうえでの「PBL講座」の受講。
- ④「PBL講座」を受講し、チームビルディングを行なったうえでの「OJT講座」の受講。

## OJT講座

県外の業務案件発注見込企業へ受講者を派遣し、On the Jobにて案件に関する業務スキル・技術スキルの習得を図ります。

受講者は発注見込企業の技術者から直接指導を受けることで実践的スキルを効果的に習得することができ、県外企業は受講者の技術レベルや習得状況を確認したうえで発注の可否を判断できるため、受発注の確度が高まります。

実施日数

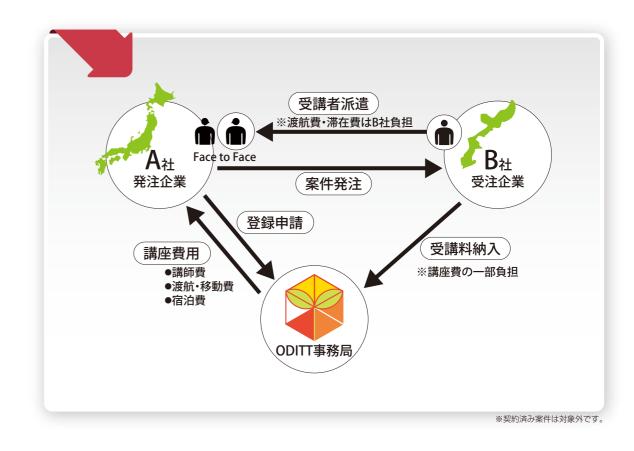
10~30日間

開講人数

1名(受講者の県外への渡航費、滞在費などは受講企業負担となります)

# ここがPOINT!

- ◆face to faceで現場の方とコミュニケーションを取りながら、実案件に近い講座を受講できるので、信頼関係が築きやすく、実案件へのスムーズな移行が可能。
- ◆受講者は講座終了後、プロジェクトの中核的存在として活躍。



### OJT講座 Q&A

# 例えばこんな使い方

#### ●どんな案件?

ARライブ配信アプリにおけるバーチャルキャラクター合成機能開発業務

#### ●何を学ぶの?

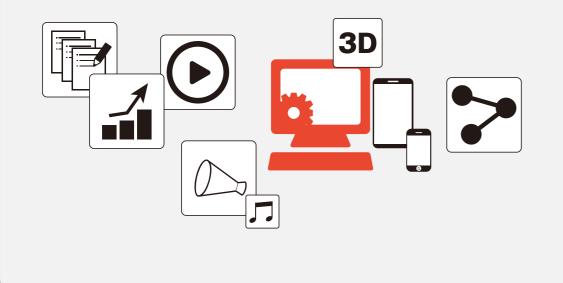
スマートフォン向け動画配信アプリにおけるAR表示コンテンツについて、Unityプラグインを使用し、コンテンツの企画・設定および制作スキルを学ぶ。

#### ●どんなことをするの?

- 開発構築手法の習得
- •ARKitによるiOS用サンプルプログラム作成演習
- •ARCoreによるAndroid用サンプルプログラム作成演習
- ●ライブ配信用キャラクタームービー作成演習
- •ARライブ配信デモプログラム作成演習

#### ●期待できる成果は?

- •Unityを使ったAR表示コンテンツ制作技術の習得
- •マルチプラットフォーム対応アプリの開発手法の習得
- ●発注元企業から開発経験が評価され、ARコンテンツだけでなく、その他Unityを利用した開発案件の受注増加!!



# 

#### どんな案件?

簡易画像検査システムの開発

#### ●何を学ぶの?

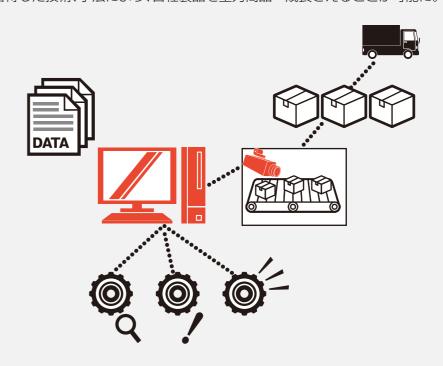
簡易画像検査システムの機能、ソフト構造、画像解析エンジンの活用方法を理解し、 簡易画像検査システムを工場の製品検査部門に導入するためのテーラリング方法を 学ぶ。

#### ●どんなことをするの?

- ●簡易画像検査システムの機器・ソフト構成の理解
- ●画像解析エンジンを活用し画像解析を行うためのプログラミング技術の習得
- •工場の検査工程のワークフローに合わせた機能設計の理解
- •検査対象に合う照明とカメラの角度調整手法の習得

#### ●期待できる成果は?

- •簡易画像検査装置に関するシステムの内部構造および周辺機器の全体像など、基礎 知識の習得
- ●工場毎、製品毎のシステムのテーラリング手法の習得により、自社での設計、開発、導入ができるようになった。
- ●習得した技術、手法により、自社製品を主力商品へ成長さえることが可能に。



## PBL講座

県外の業務案件発注見込企業から講師を沖縄に招へいし、案件をベースにした演習を行ない 業務スキル・技術スキルの習得を図ります。

受講者は発注見込企業の技術者から直接指導を受けることで実践的スキルを効果的に習得することができ、県外企業は受講者の技術レベルや習得状況を確認したうえで発注の可否を判断できるため、受発注の確度が高まります。

実施日数

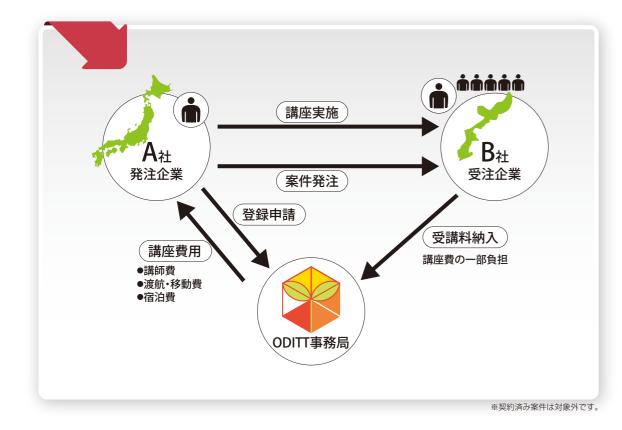
5~20日間

開講人数

5名 (開講人数に満たない場合は、原則、講座開講しません。)

# ここがPOINT!

- ◆新規案件やニアショア案件など、県外企業が沖縄の技術力を把握するためのお試し講座としても活用可能。
- ◆受講企業内での講座開催となるため、実案件に近い開発環境などの準備がしやすく、講座から 実案件への移行がスムーズ。
- ◆実案件に近い内容で講座を受講できるので、案件獲得後のイメージがしやすく、実案件開始時 の作業効率アップが期待できる。



### PBL講座 Q&A

### 例えばこんな使い方

#### どんな案件?

仮想通貨サービステスト設計・実行業務

#### ●何を学ぶの?

仮想通貨サービスのWEBアプリケーションサービスの開発・テスト業務に対応する ため、仮想通貨の概念を理解し、基本的な仕様・機能及び業務フローを学ぶ。

#### ●どんなことをするの?

- 仮想通貨の基礎知識の習得
- ●仮想通貨取引口座管理サービス概要の理解
- ●業務フロー習得とテストシナリオ作成演習(グループワーク)
- ●テストシナリオ実施演習(グループワーク)

#### ●期待できる成果は?

- ●仮想通貨サービスについての理解度UP
- ●サービス利用者と運営者の視点に立った機能性、利便性を意識したテスト設計、実施 が可能。
- ●競合他社との差別化により発注元企業へのアピールとなり、受注拡大につながった。 例)年間500万円×4案件=2,000万円の受注売り上げUP!!など



# 例えばこんな使い方2

#### どんな案件?

店舗向け勤怠管理アプリケーション機能追加・改修業務

#### ●何を学ぶの?

従業員のシフト管理及び勤怠管理の仕組み・業務を理解し、効率的人員管理アプリケーションの開発ができることを目指し、システム構成、店舗運営業務のシステム化のポイント、アプリケーション開発方針・実装を学ぶ。

#### ●どんなことをするの?

- ●業界の概要と店舗での業務の理解
- ●現行アプリケーションの仕様と業務オペレーションの理解
- ●現行アプリケーション操作演習(シフト管理)
- ●現行アプリケーション操作演習(勤怠管理)

#### ●期待できる成果は?

- ●効率的人員管理アプリケーション開発のポイント理解
- 機能拡張に向けた要件の理解、機能実装技術の向上
- 例)発注元企業からの受託開発が増え、次年度の売上げが120%に!



## 技術講座

中堅エンジニアのさらなる技術力向上を図る講座はもとより、エントリー層の基礎技術力の定着を図る講座など、基礎から応用まで幅広い講座を実施します。

また、プロジェクトマネジメントやITサービス関連講座など、管理職向けビジネススキル分野や、リーダーシップ、コミュニケーションなどのヒューマンスキル分野にも対応しており、すべてのレベルのスキルアップをサポートします。

さらに、IoTやビッグデータ、AIなどを活用した新たなビジネスの開拓・創出を試みるための ビジネスプロデュース力育成講座を実施します。

#### 実施日数

1~5日間程度

### 開講人数

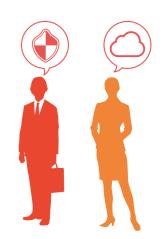
8~10名 (開講人数に満たない場合は、原則、講座開講しません。)

# 講座例

- ●IT技術、ITサービスに関する講座
- •新入社員、若手社員向けフォローアップ講座
- プロジェクトマネジメント、チームビルディングなど管理職向け講座
- コミュニケーション、リーダーシップなどヒューマンスキル講座
- •AI、IoTなどITサービス利活用による他産業連携、新ビジネス創出関連講座など

# ここがPOINT!

- ◆幅広い分野、レベルに対応可能
- ◆受講料が安い(市場一般価格の5~3割程度の受講料) ※受講料は規定により算出
- ◆講座内容や日程をカスタマイズできる
- ◆ニーズに合わせたオリジナル講座も実施可
- ◆厚生労働省が実施する人材開発支援助成金も併用可 ※詳細は厚生労働省ホームページをご確認ください。



### 資格対策講座

各種IT関連資格やプロジェクトマネジメント、ITサービス関連資格など、1日あたり6~8時間の集中講座で、資格取得をサポートします。

資格認定機関からの公認講師の特別講座により、「より解る」「より受かる」講座を実施します。

実施日数

1~5日間程度

開講人数

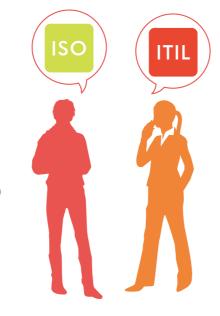
8~10名 (開講人数に満たない場合は、原則、講座開講しません。)

講 座 例

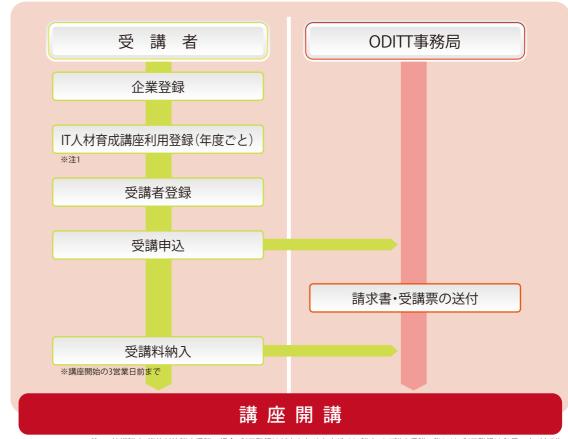
- •情報技術者試験
- •Oracle認定資格試験(Database、Java、など)
- ●ITサービス関連資格(ITIL、ITC、など)
- •情報セキュリティ関連資格(ISMS、ISO、など)
- プロジェクトマネジメント関連資格(PMBOK、 PRINCE2、など)
- •コンタクトセンター、BPOセンター関連試験など多数

# ここがPOINT!

- ◆資格取得促進のきっかけづくりに!
- ◆資格取得者が増えると…
- ●取引企業へのPR力がUP
- ■エンジニアの技術力を可視化
- 社員のモチベーション向上
- ◆受講料が安い(市場一般価格より5~3割程度の受講料)
- ◆講座内容や日程をカスタマイズできる
- ◆厚生労働省が実施する人材開発支援助成金も併用可 ※詳細は厚生労働省ホームページをご確認ください。



## 講座受講までの流れ(受講者)

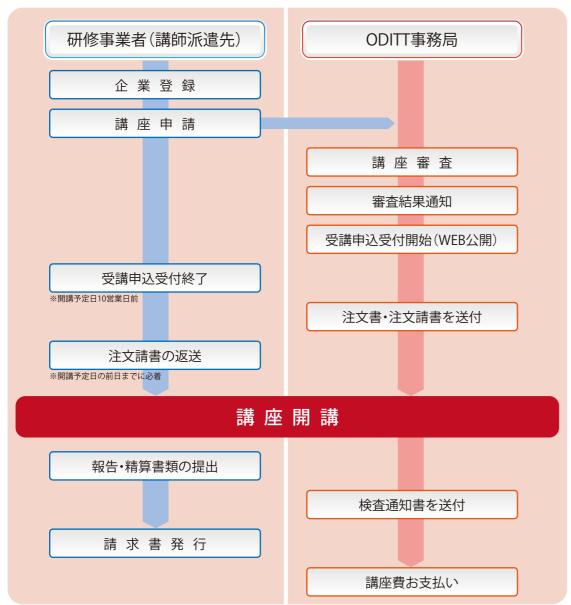


※注1 技術講座・資格対策講座受講の場合、利用登録は任意となりますが、PBL講座・OJT講座受講の際には、利用登録は必須です。(有料)

## 利用案内

- ■申込期限について
- ●申込期限は開講日10営業日前までとなります。
- ■キャンセルについて
- ●申込締切日(開講日10営業日前)の24:00までに、ODITTホームページよりキャンセル手続きを行ってください。または、申込締切日17:00までにODITT事務局へ直接ご連絡ください。
- ●申込締切日以降のキャンセルはできません。受講料全額をお支払いいただきます。
- ■お支払い方法について
- ●申込締切後、請求書を送付します。
- ●開講日3営業日前までに指定の銀行口座へ受講料をお振込みください。
- ●お振込みいただいた受講料は、突然の中止・変更などの特別な理由を除いて返金しません。
- ■日程変更について
- ●台風などの理由により、日程が変更となる場合があります。
- ●講座実施状況などの都合により研修会場が変更となる場合があります。
- ■開講人数に満たない場合について
- ●開講人数に満たない場合は、原則開講しません。
- ■IT人材育成講座利用登録について(有料)
- ●IT人材育成講座利用登録にご登録いただくことにより、優待価格での講座受講が可能です。年度内の受講 予定者数が3人以上となる場合には、利用登録することをおすすめします。
- ※詳細については、ODITTホームページTOPにて確認ください。
- ※沖縄県情報産業協会(IIA)会員登録とは、別にお申し込みが必要です。

# 講座開講までの流れ(研修事業者)



※請求書発行月の翌月末日

## 利用案内

- ■講座申請について
- ●講座開講希望日の40日前までにODITTホームページより申請ください。
- ■適用条件
- ●県内企業および県内事業所などに従事しているものを対象とした講座であること。(自社内の研修は対象外)
- ●IPAのCCSF(またはITSS/ETSS/UISS)などに準ずる講座内容であること。
- ●1日の講座時間は6時間以上であること。(昼休憩時間を除く)
- ■開講人数に満たない場合について
- ●開講人数に満たない場合は、原則開講しません。
- ※講座ごとに適用条件や補助内容などが異なるため、詳細は、ODITTホームページにてご確認ください。



# ODITTセミナー

業界の最新動向や先端技術について、県外企業や各分野で活躍する専門家や技術者を招へい し講演会や、ハンズオンセミナー、ワークショップなどを開催します。

注目度の高いテーマをはじめ、専門特化した技術に関する情報など、県内IT企業、技術者への情報の提供を目的としています。また、情報交換の場として活用することもできます。

### 分 野



### セミナー例

#### 技術者向け

- •Blue Mix ハンズオンセミナー
- •WEBアナリスト養成セミナー など



#### 経営者向け

- ●ITサービスマネジメントセミナー
- ●問題解決ワークショップ など





### 新ビジネス創出 /他産業連携

- ●「農業×IT」「医療×IT」など、IT利活用による他産業連携セミナー
- •アイデア/発想法ワークショップ など





# Okinawa Diversified IT-expert Training 公益社団法人 沖縄県情報産業協会

お問い合わせ ODITT事務局

T903-0213

沖縄県中頭郡西原町千原1番地

琉球大学 地域創生総合研究棟3階 304号室

(工学部1号館隣接ビル)

電話番号 098-943-4643

F A X 098-943-4642

受付時間 10:00~17:00(土・日・祝日は除く)

E-mail info@itedu.okinawa

U R L

http://www.itedu.okinawa

